

「特定非営利活動法人の会計の明確化に関する研究会」
取りまとめのイメージ

I 総論

- 特定非営利活動促進法における会計に関する規定
- 新しい会計の手引きの必要性、位置付け及び役割
- 「NPO法人会計基準」との関係

第4回までに議論いただいた方針等を記述

II 計算書類等について

- 計算書類等の体系（種類・意義）
 - ・ 計算書類等の別葉表示
- 活動計算書
 - ・ 事業費・管理費の費目別内訳、按分方法
 - ・ 無償又は著しく低い価格での施設の提供等の物的サービスを受けた場合やボランティアの受入れをした場合の取扱い
- 貸借対照表
 - ・ 資産等の表示方法
 - ・ チェックポイント
- 計算書類の注記
 - ・ 注記の充実
- 財産目録
 - ・ 表示方法、チェックポイント
- 活動予算書

各論として議論いただいた記載方法、留意事項、誤り防止のためのチェックポイント等を記述

III 留意すべき会計上の取扱いについて

- 使途等が指定された寄附金の取扱い
- 対象事業及び実施期間が定められている補助金、助成金等の取扱い
- 認定特定非営利活動法人についての留意事項
- 経過措置
- その他

IV その他

- 新しい手引きの普及の在り方
- 継続的な手引きの見直しの必要性
- 会計監査への対応

} 第8回の議論等を踏まえて
記述

別紙

- 勘定科目例、計算書類様式例、注記例

※ II、III、別紙については、今後内閣府において作成する「設立・管理・運営及び認定の手引き」（仮称）に反映

【「別紙」のイメージ】

別表 1

活動計算書の科目

以下に示すものは、一般によく使われると思われる科目のうち、**主なものを示した**ものです。したがって該当がない場合は使用する必要はありませんし、利用者の理解に支障がなければまとめてもかまいません。また、適宜の科目を追加することができます。

勘定科目	科目の説明
I 経常収益	
1. 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	
2. 受取寄附金 受取寄附金 資産受贈益 施設等受入評価益	無償又は著しく低い価格で現物資産の提供を受けた場合の公正価値による評価額。無償又は著しく低い価格で施設の提供等の物的サービスを受けた場合で、当該サービスを合理的に算定し外部資料等によって客観的に把握できる場合に、その他経費と同額計上する方法を選択した場合。
ボランティア受入評価益	ボランティアから役務の提供を受けた場合で、当該役務の金額を、合理的に算定し外部資料等によって客観的に把握できる場合として、人件費と同額計上する方法を選択した場合。
受取寄附金振替額	用途等の指定が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額
3. 受取助成金等 受取助成金 受取補助金 受取補助金振替額	補助金や助成金の交付者の区分によって受取民間助成金、受取国庫補助金等に区分することができる。 用途等の指定が解除されたことによる指定正味財産から一般正味財産への振替額
4. 事業収益	事業の種類ごとに区分して表示することができる。
5. その他収益 受取利息 為替差益 雑収入	為替換算による差益。なお為替差損がある場合は相殺して表示する。
II 経常費用	
1. 事業費	
(1) 人件費 給料手当 臨時雇賃金 ボランティア評価費用	活動の原価の算定に必要なボランティアの受入額。 ボランティア受入評価益と同額を計上する。
法定福利費 退職給付費用 通勤費 福利厚生費	退職給付見込額のうち当期に発生した費用。 給料手当、福利厚生費に含める場合もある。
(2) その他経費 売上原価 業務委託費 諸謝金 印刷製本費 会議費 旅費交通費 車両費 通信運搬費 消耗品費 修繕費 水道光熱費 地代家賃 賃借料 施設等評価費用	販売用棚卸資産を販売した時の原価。 講師等に対する謝礼金。 車に関する費用をまとめる場合。内容により他の科目に表示することもできる。 電話代や郵送物の送料など。 電気代、ガス代、水道代など。 事務所や駐車場代など。 事務機器のリース料など。不動産の使用料をここに入れることも可能。 無償でサービスの提供を受けた場合の費用相当額。 施設等受入評価益と同額を計上する。
減価償却費 保険料 諸会費 租税公課	収益事業に対する法人税等は別に表示することが望ましい。なお法人税等を別表示する際には、活動計算書の末尾に表示し、当期正味財産合計から差し引くことが望ましい(様式1参照)。
研修費 支払手数料	

勘定科目	科目の説明
支払助成金 支払寄附金 為替差損 雑費 2. 管理費 (1) 人件費 役員報酬 給料手当 法定福利費 退職給付費用 通勤費 福利厚生費 (2) その他経費 印刷製本費 会議費 旅費交通費 車両費 通信運搬費 消耗品費 修繕費 水道光熱費 地代家賃 賃借料 減価償却費 保険料 諸会費 租税公課 支払手数料 雑費 III 経常外収益 固定資産売却益 過年度損益修正益 IV 経常外費用 固定資産除・売却損 災害損失 過年度損益修正損 V 経理区分振替額 経理区分振替額	為替換算による差損。なお為替差益がある場合は相殺して表示する。 退職給付見込額のうち当期に発生した費用。 給料手当、福利厚生費に含める場合もある。 車に関する費用をまとめる場合。内容により他の科目に表示することもできる。 電話代や郵送物の送料など。 電気代、ガス代、水道代など。 事務所や駐車場代など。 事務機器のリース料など。不動産の使用料をここに入れることも可能。 収益事業に対する法人税等は別に表示することが望ましい。なお法人税等を別表示する際には、活動計算書の末尾に表示し、当期正味財産合計から差し引くことが望ましい(様式1参照)。 過年度に関わる項目を当期に一括して修正処理をした場合。 過年度に関わる項目を当期に一括して修正処理をした場合。 その他事業がある場合の事業間振替額。

貸借対照表の科目

以下に示すものは、一般によく使われると思われる科目のうち、**主なものを示した**ものです。したがって該当がない場合は使用する必要はありませんし、利用者の理解に支障がなければまとめてもかまいません。また、適宜の科目を追加することができます。

勘定科目	科目の説明
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	
未収金	商品の販売によるものも含む。
棚卸資産	商品、貯蔵品等として表示することもできる。
短期貸付金	
前払金	
仮払金	
立替金	
〇〇特定資産	目的が特定されている資産で流動資産に属するもの。目的を明示する。
貸倒引当金(△)	
2. 固定資産	
(1) 有形固定資産	
建物	建物付属設備を含む。
構築物	
車両運搬具	
什器備品	
土地	
建設仮勘定	工事の前払金や手付金など、建設中又は制作中の固定資産。
(2) 無形固定資産	
ソフトウェア	購入あるいは制作したソフトの原価。
商標権	
(3) 投資その他の資産	
投資有価証券	償却原価又は時価で計上する。
敷金	返還されない部分は含まない。
長期貸付金	
長期前払費用	
〇〇特定資産	目的が特定されている資産で固定資産に属するもの。目的を明示する。
II 負債の部	
1. 流動負債	
短期借入金	返済期限が事業年度末から1年以内の借入金。
未払金	商品の仕入れによるものも含む。
前受金	
仮受金	
預り金	
2. 固定負債	
長期借入金	返済期限が1年を超える借入金。
退職給付引当金	退職給付見込額の期末残高。
III 正味財産の部	
1. 正味財産	
前期繰越正味財産	
当期正味財産増減額	

活動計算書

××年×月×日から××年×月×日まで

前事業年度の自至年月
日を記載

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		
賛助会員受取会費	×××		
.....	×××	×××	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		
施設等受入評価益	×××		
.....	×××	×××	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		
.....	×××	×××	
4. 事業収益			
〇〇事業収益			×××
5. その他収益			
受取利息	×××		
雑収入	×××		
.....	×××	×××	
経常収益計			×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
施設等評価費用	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
事業費計			×××
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
管理費計			×××
経常費用計			×××
当期経常増減額			×××
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		×××	
.....		×××	
経常外収益計			×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		×××	
.....		×××	
経常外費用計			×××
税引前当期正味財産増減額			×××
法人税、住民税及び事業税			×××
当期正味財産増減額			×××
前期繰越正味財産額			×××
次期繰越正味財産額			×××

施設等評価費用と同額を計上

施設等受入評価益と同額を計上

前々事業年度活動計算書(収支計算書)の「次期繰越収支差額」と金額を一致させる

貸借対照表の「正味財産合計」と金額を一致させる

活動計算書

××年×月×日から××年×月×日まで

前事業年度の自至年月
日を記載

(単位：円)

科目	金額		
(一般正味財産増減の部)			
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		
賛助会員受取会費	×××		
.....	×××	×××	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		
受取寄附金振替額	×××		
施設等受入評価益	×××	×××	
.....	×××		
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		
.....	×××	×××	
4. 事業収益			
〇〇事業収益			×××
5. その他収益			
受取利息	×××		
雑収入	×××		
.....	×××	×××	
経常収益計			×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
施設等評価費用	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
事業費計		×××	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		
給料手当	×××		
法定福利費	×××		
福利厚生費	×××		
.....	×××		
人件費計	×××		
(2) その他経費			
会議費	×××		
旅費交通費	×××		
.....	×××		
その他経費計	×××		
管理費計		×××	
経常費用計			×××
当期経常増減額			×××
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益		×××	
.....		×××	
経常外収益計			×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		×××	
.....		×××	
経常外費用計			×××
当期一般正味財産増減額			×××
前期繰越一般正味財産額			×××
次期繰越一般正味財産額			×××

用途等の指定が解除されたことによる指定正味財産からの振替額

施設等評価費用と同額を計上

施設等受入評価益と同額を計上

前々事業年度活動計算書(収支計算書)の「次期繰越一般正味財産額」と金額を一致させる

貸借対照表の「一般正味財産合計」と金額を一致させる

(指定正味財産増減の部)				
I 受取寄附金による指定正味財産増加額				×××
II 受取補助金による指定正味財産増加額				×××
III 一般正味財産への振替額				×××
当期指定正味財産増減額				×××
前期繰越指定正味財産額				×××
次期繰越指定正味財産額				×××
次期繰越正味財産額				×××

前々事業年度活動計算書(収支計算書)の「次期繰越指定正味財産額」と金額を一致させる

貸借対照表の「指定正味財産合計」と金額を一致させる

貸借対照表の「正味財産合計」と金額を一致させる

様式3：その他の事業がある場合の活動計算書

活動計算書

××年×月×日から××年×月×日まで

前事業年度の自至年月
日を記載

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	×××		×××
.....	×××		×××
2. 受取寄附金			
受取寄附金	×××		×××
施設等受入評価益	×××		×××
.....	×××		×××
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	×××		×××
.....	×××		×××
4. 事業収益			
〇〇事業収益	×××		×××
△△事業収益		×××	×××
5. その他収益			
受取利息	×××		×××
雑収入	×××		×××
.....	×××		×××
経常収益計	×××	×××	×××
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	×××	×××	×××
法定福利費	×××	×××	×××
福利厚生費	×××	×××	×××
.....	×××		×××
人件費計	×××	×××	×××
(2) その他経費			
会議費	×××		×××
旅費交通費	×××	×××	×××
施設等評価費用	×××		×××
.....	×××	×××	×××
その他経費計	×××	×××	×××
事業費計	×××	×××	×××
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	×××		×××
給料手当	×××		×××
法定福利費	×××		×××
福利厚生費	×××		×××
.....	×××		×××
人件費計	×××		×××
(2) その他経費			
会議費	×××		×××
旅費交通費	×××		×××
.....	×××		×××
その他経費計	×××		×××
管理費計	×××		×××
経常費用計	×××	×××	×××
当期経常増減額	×××	×××	×××
III 経常外収益			
1. 固定資産売却益	×××		×××
.....	×××		×××
経常外収益計	×××		×××
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損	×××		×××
.....	×××		×××
経常外費用計	×××		×××
経理区分振替額	×××	△×××	×××
当期正味財産増減額	×××	×××	×××
前期繰越正味財産額	×××	×××	×××
次期繰越正味財産額	×××	×××	×××

施設等評価費用と同額を計上

施設等受入評価益と同額を計上

その他の事業で得た利益の振替額

貸借対照表の「正味財産合計」と金額を一致させる

前々事業年度活動計算書(収支計算書)の「次期繰越収支差額」と金額を一致させる

様式4：貸借対照表

貸借対照表
××年×月×日現在

前事業年度の末日を記載する

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	×××		
未収金	×××		
.....	×××		
流動資産合計		×××	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	×××		
什器備品	×××		
.....	×××		
有形固定資産計	×××		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア	×××		
.....	×××		
無形固定資産計	×××		
(3) 投資その他の資産			
敷金	×××		
○○特定資産	×××		
.....	×××		
投資その他の資産計	×××		
固定資産合計		×××	
資産合計			×××
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	×××		
前受助成金	×××		
.....	×××		
流動負債合計		×××	
2. 固定負債			
長期借入金	×××		
退職給付引当金	×××		
.....	×××		
固定負債合計		×××	
負債合計			×××
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
前期繰越指定正味財産			×××
当期指定正味財産増減額			×××
指定正味財産合計			×××
2. 一般正味財産			
前期繰越一般正味財産			×××
当期一般正味財産増減額			×××
一般正味財産合計			×××
正味財産合計			×××
負債及び正味財産合計			×××

「負債及び正味財産合計」と金額を一致させる

前々事業年度貸借対照表の「指定正味財産合計」と金額を一致させる

活動計算書の「次期繰越指定正味財産額」と金額を一致させる

前々事業年度貸借対照表の「一般正味財産合計」と金額を一致させる

活動計算書の「次期繰越一般正味財産額」と金額を一致させる

「資産合計」と金額を一致させる

活動計算書の「次期繰越正味財産額」と金額を一致させる

※ 正味財産を区分しない場合は、「III 正味財産の部」の「1」と「2」をまとめて「正味財産」として表示する。

※ 資産、負債、正味財産がすべて「ゼロ」の場合は、提出不要。

財務諸表の注記

以下に示すものは、想定される注記について網羅的に示したものです。
該当事項がない場合は記載不要です。

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

.....

どの会計基準に基づいて作成したか記載する

(2) 引当金の計上基準

・退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。

・〇〇引当金

.....

(3) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上しています。

また計上額の算定方法は「4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載しています。

(4) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(5) 消費税等の会計処理

.....

2. 会計方針の変更

.....

3. 事業費の内訳

(単位:円)

科目	A事業費	B事業費	C事業費	D事業費	合計
(1) 人件費					
給料手当	×××	×××	×××	×××	×××
臨時雇賃金	×××	×××	×××	×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	×××
人件費計	×××	×××	×××	×××	×××
(2) その他経費					
業務委託費	×××	×××	×××	×××	×××
旅費交通費	×××	×××	×××	×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	×××
その他経費計	×××	×××	×××	×××	×××
合計	×××	×××	×××	×××	×××

※給料手当及び旅費交通費は従事割合に基づき按分しています。

従事割合、使用割合、建物面積比等、按分方法を記載する

4. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
〇〇体育館の無償利用	×××	〇〇体育館使用料金表によっています。

合理的な算定方法を記載する(活動計算書に計上する場合は客観的な算定方法)

5. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳
(単位:円)

内容	金額	算定方法
○○事業相談員 ■名×■日間	×××	単価は××地区の最低賃金によって算定しています。

合理的な算定方法を記載する
(活動計算書に計上する場合は客観的な算定方法)

6. 用途等が制約された寄附等の内訳

用途等が制約された寄附等の内訳は以下の通りです。
当法人の正味財産は×××円ですが、そのうち×××円は、下記のように用途が特定されています。
したがって用途が制約されていない正味財産は×××円です。

内訳の詳細な説明を記載する

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
○○地震被災者 援助事業		×××	×××	×××	支援用物資。翌期に配布を予定しています。
△△財団助成× ×事業		×××	×××		助成金の総額は××円です。当期受入額との差額××円は前受助成金として貸借対照表に計上しています。
合計		×××	×××	×××	

(単位:円)

7. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
.....	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
無形固定資産						
.....	×××	×××	×××	×××	△×××	×××
投資その他の資産						
.....	×××	×××	×××	×××		×××
合計	×××	×××	×××	×××	△×××	×××

8. 借入金を増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	×××		×××	×××
役員借入金	×××			×××
合計	×××		×××	×××

9. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
受取寄附金	×××	×××
委託料	×××	×××
活動計算書計	×××	×××
(貸借対照表)		
未払金	×××	×××
役員借入金	×××	×××
貸借対照表計	×××	×××

10. 指定正味財産及び一般正味財産の増減の状況

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
指定正味財産	×××	×××	×××	×××
一般正味財産	×××	×××	×××	×××
合計	×××	×××	×××	×××

様式6：財産目録

財産目録

××年×月×日現在

前事業年度の末日を記載する

(単位:円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	×××		
××銀行普通預金	×××		
未収金			
××事業未収金	×××		
.....	×××		
流動資産合計		×××	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
什器備品			
パソコン1台	×××		
応接セット	×××		
.....	×××		
.....	×××		
有形固定資産計	×××		
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア			
財務ソフト	×××		
.....	×××		
無形固定資産計	×××		
(3) 投資その他の資産			
敷金	×××		
○○特定資産			
××銀行定期預金	×××		
.....	×××		
投資その他の資産計	×××		
固定資産合計		×××	
資産合計			×××
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
事務用品購入代	×××		
.....	×××		
預り金			
源泉所得税預り金	×××		
.....	×××		
.....	×××		
流動負債合計		×××	
2. 固定負債			
長期借入金	×××		
××銀行借入金	×××		
.....	×××		
.....	×××		
固定負債合計		×××	
負債合計			×××
正味財産			×××

口座番号の記載は不要

「負債合計」と「正味財産」の合計金額と一致させる

「負債合計」と「正味財産」の合計金額と「資産合計」の金額とを一致させる